



第54回定時株主総会

2024年6月26日

石油資源開発株式会社
(証券コード：1662)

【報告事項】

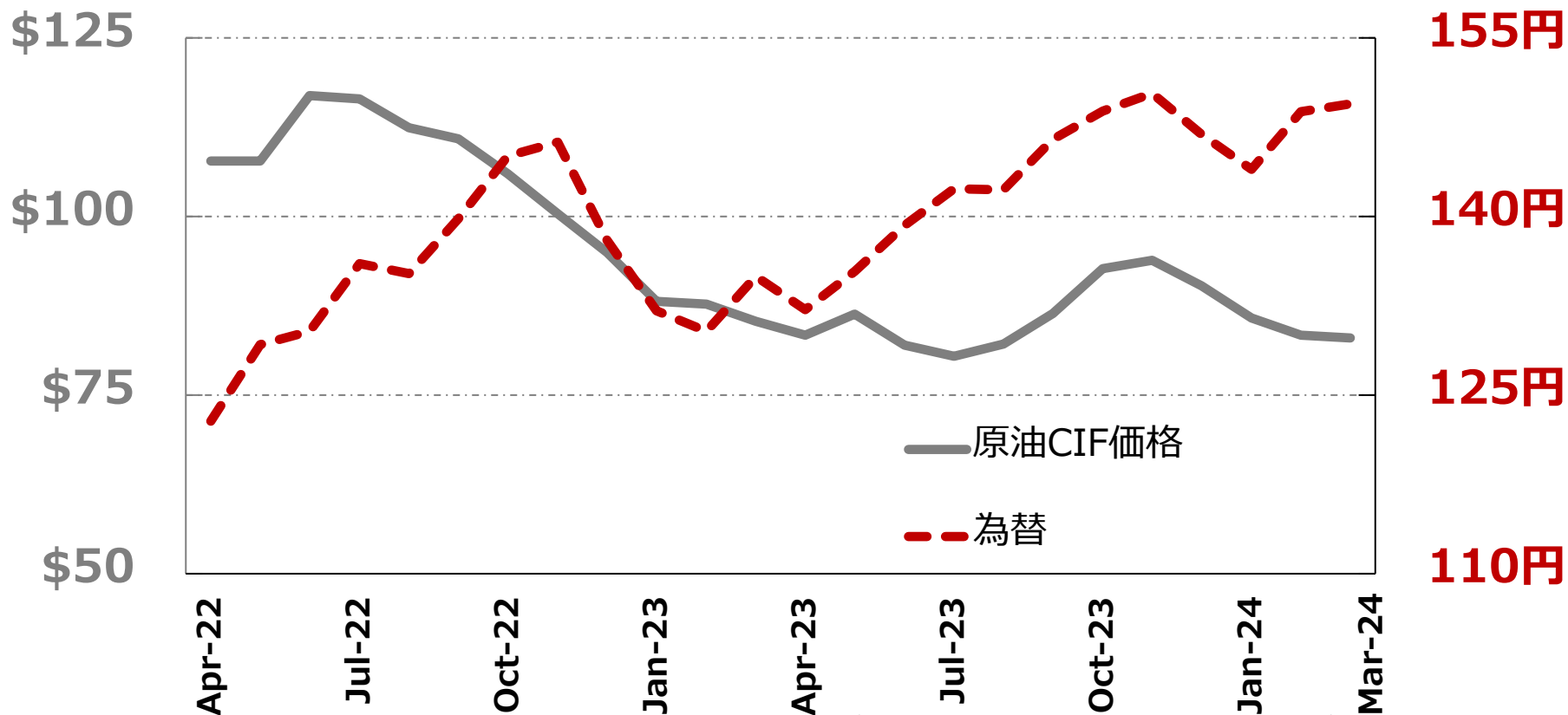
1. 第54期〔自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日〕事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第54期〔自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日〕計算書類報告の件

事業の経過及び成果

当年度（2023年度）の事業環境 原油CIF価格と為替の動き

[原油CIF価格] USD/bbl

[為替] 円/USD



事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

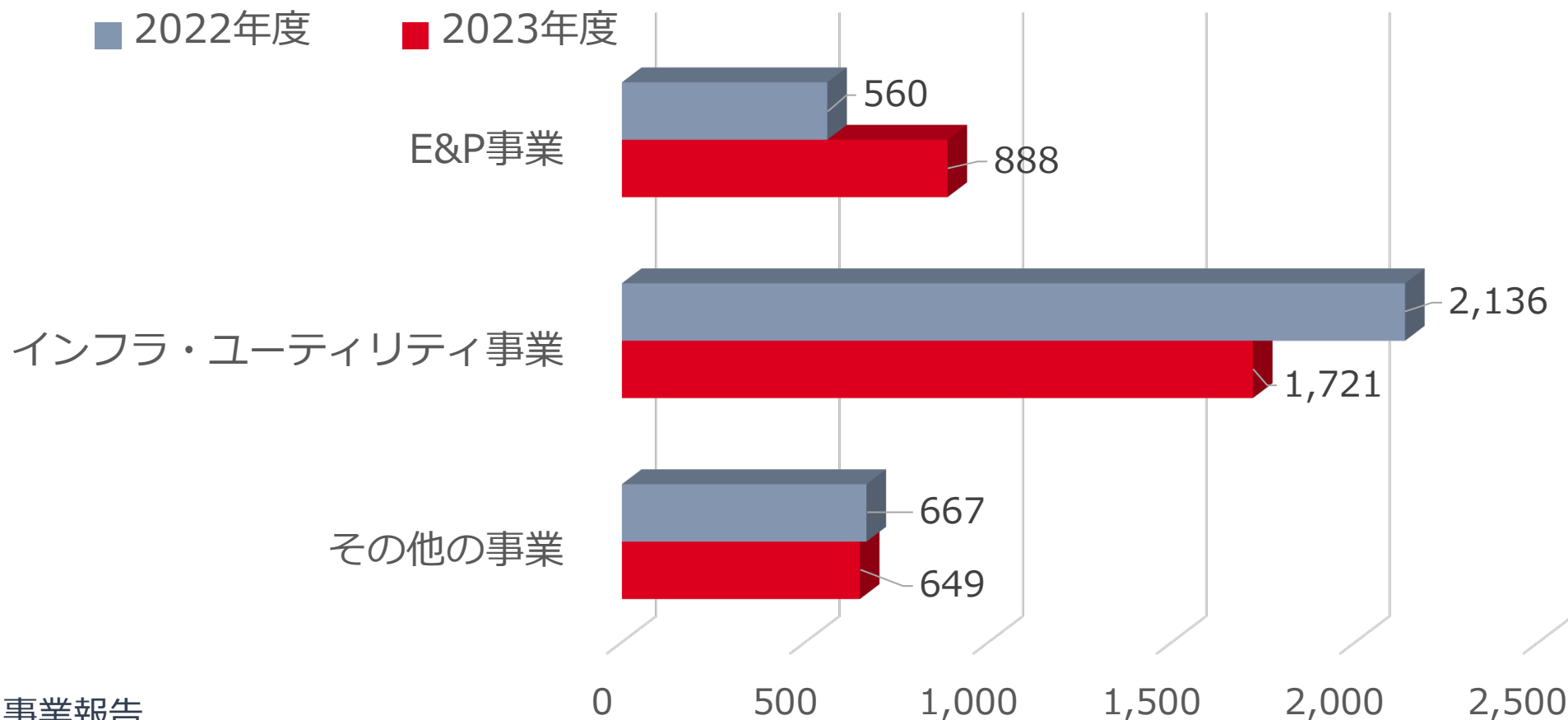


2023年度

当年度（2023年度）の業績①【売上高】

—業績の状況—

売上高 3,258億円（前年度比▲106億円 ▲3%）



事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

単位：億円

当年度（2023年度）の業績 ②

[億円]	2022年度	2023年度	比較増減	
売上高	3,364	3,258	▲106	▲3%
営業利益	620	552	▲68	▲11%
経常利益	831	688	▲143	▲17%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	673	536	▲137	▲20%

事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

連結貸借対照表

2024年3月31日現在

—業績の状況—

[億円]	2022年度	2023年度	比較増減	
資 産	5,681	6,609	+927	+16%
流動資産	2,817	2,497	▲320	▲11%
有形固定資産	1,184	1,763	+578	+48%
無形固定資産	55	52	▲3	▲5%
投資その他の資産	1,624	2,295	+671	+41%
負 債	1,110	1,233	+123	+11%
純 資 産	4,571	5,375	+804	+17%
うち利益剰余金	3,629	3,978	+348	+9%
負 債 ・ 純 資 産	5,681	6,609	+927	+16%

事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

E&P事業

E&P事業：石油・天然ガスの探鉱、開発・生産、および輸送・販売

当社E&P事業拠点（2024年6月時点） 日本国内**10**か所＋海外**6**か所

O&G ノルウェー領海上鉱区

O&G 英領北海・
シーガルプロジェクト

OIL イラク・
ガラプロジェクト

ロシア・
サハリン1プロジェクト

OIL

O&G 日本・
国内油ガス田

O&G

GAS

インドネシア・
カンゲアンプロジェクト

アメリカ・
タイトオイル開発



事業報告

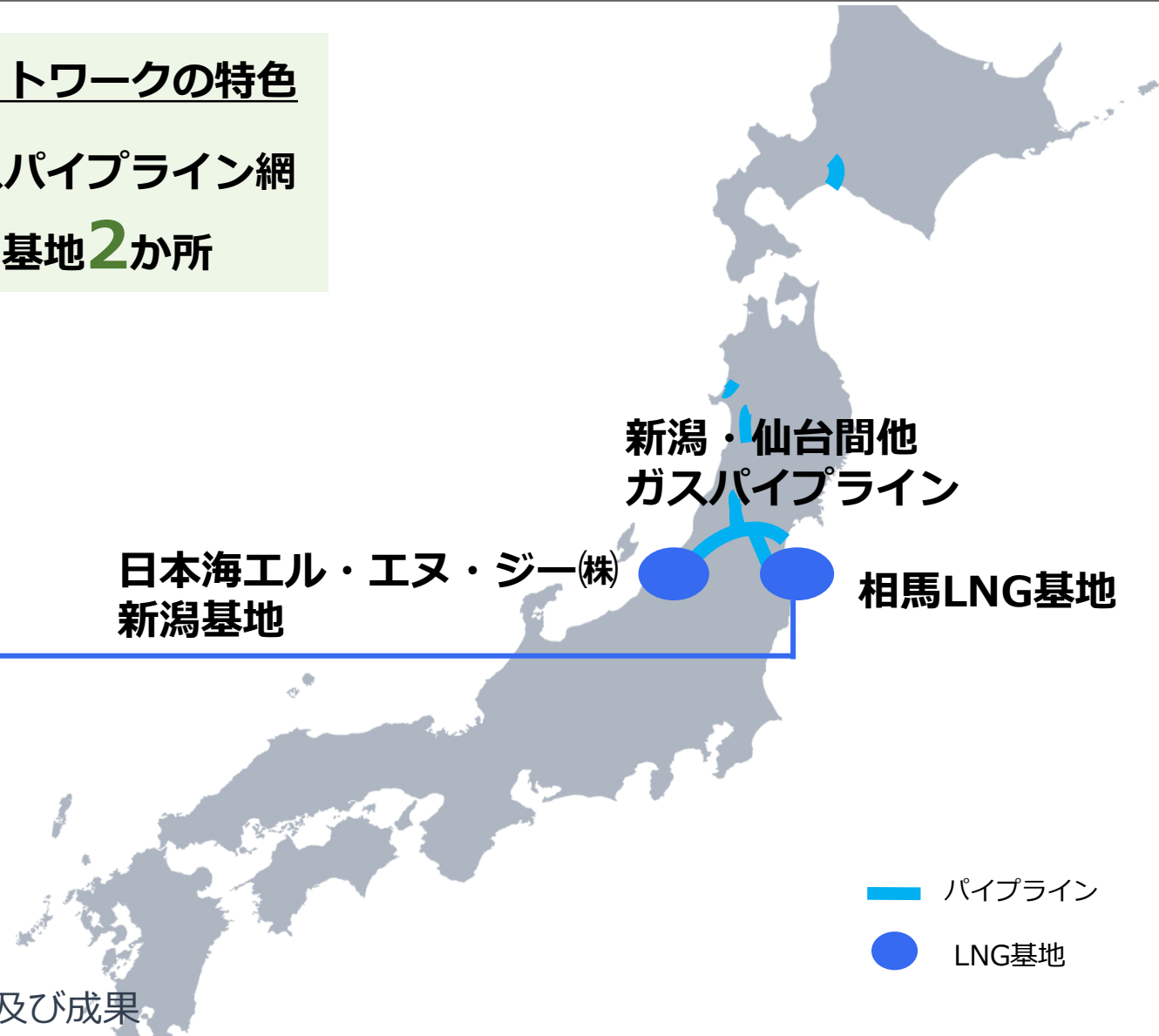
1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

インフラ・ユーティリティ事業 ①国内ガス供給

JAPEXの国内天然ガス供給ネットワークの特色

総延長**800**km超の高圧ガスパイプライン網

外航船受入に対応するLNG基地**2**か所



事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

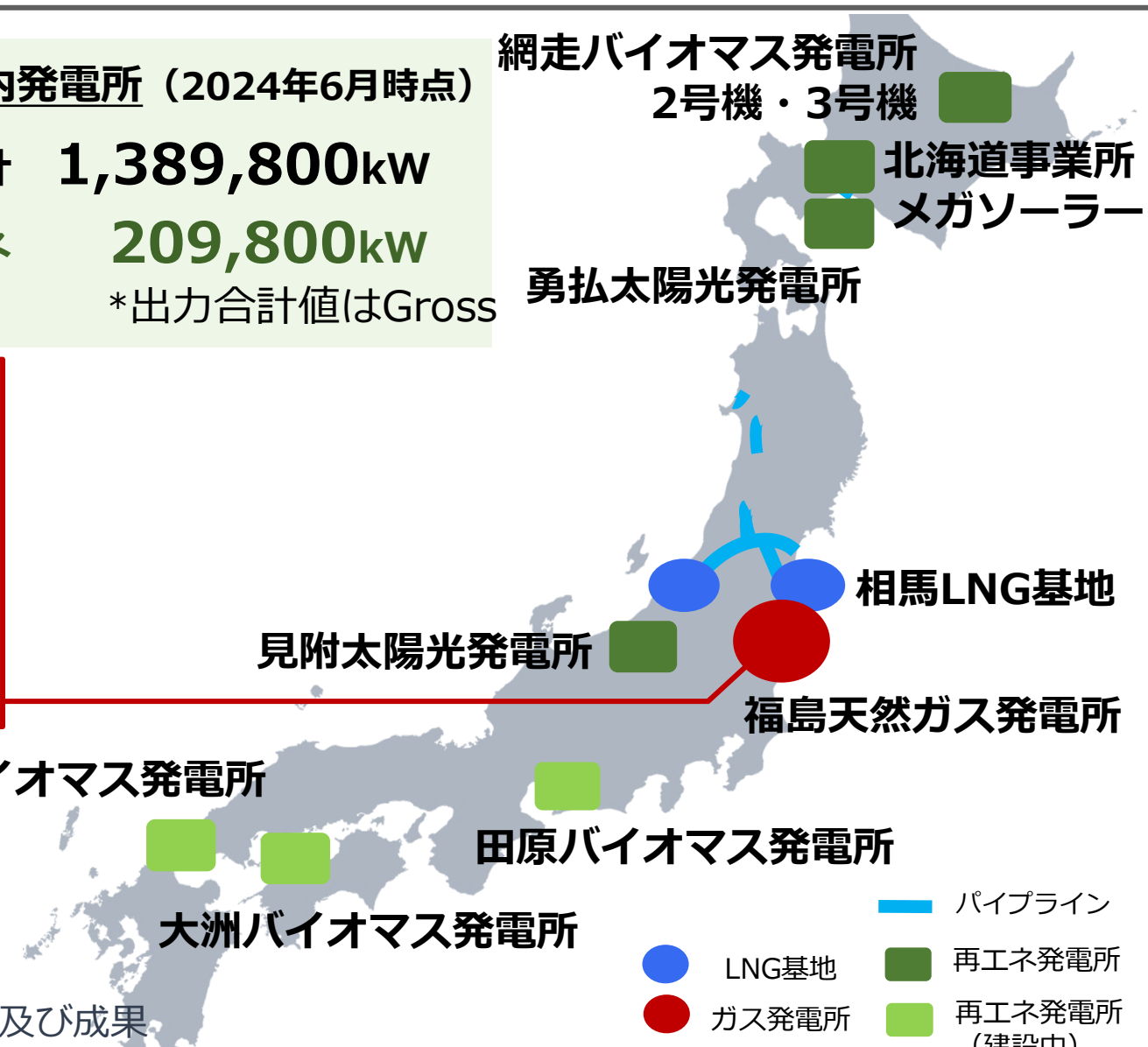
インフラ・ユーティリティ事業 ②電力

当社が開発・運営に参画する国内発電所（2024年6月時点）

拠点合計 **8**か所 出力合計 **1,389,800kW**

うち再エネ **7**か所 うち再エネ **209,800kW**

*出力合計値はGross



事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

その他の事業 - カーボンニュートラル

CCS (CO₂の回収・貯留) /
CCUS (CO₂の回収・有効活用・貯留) の実現可能性検討

日本・
先進的CCS事業の実施に係る調査
「苫小牧エリア」、
「東新潟エリア」受託

マレーシア・
サラワク州でCCS共同スタディ

インドネシア・
スコワティ油田でCO₂圧入試験

アメリカ・
BSO社資本参加

事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

対処すべき課題

「JAPEX経営計画2022-2030」概要①

- 2022年度から2030年度まで（9年度）の**中長期経営計画**
- **収益力の強化と、2030年以降を見据えた事業基盤の構築**を基本方針
- 各分野の重点項目の推進などにより、**資本コストに見合う利益水準の達成**を目指す

事業基盤

E&P分野

新規権益取得への投資継続と操業の低炭素化対応推進

I/U^{*1}分野

再生可能エネルギーをはじめとする事業規模の拡大

CN^{*2}分野

既存油ガス田などを活用したハブ&クラスター^{*3}型CCS/CCUSモデル事業

*1: インフラ・ユーティリティ（Infrastructure & Utility）の略、*2: CN=カーボンニュートラル（Carbon Neutral）の略、*3: 複数のCO2排出源やCO2貯留サイトを連結するCCS/CCUSネットワーク

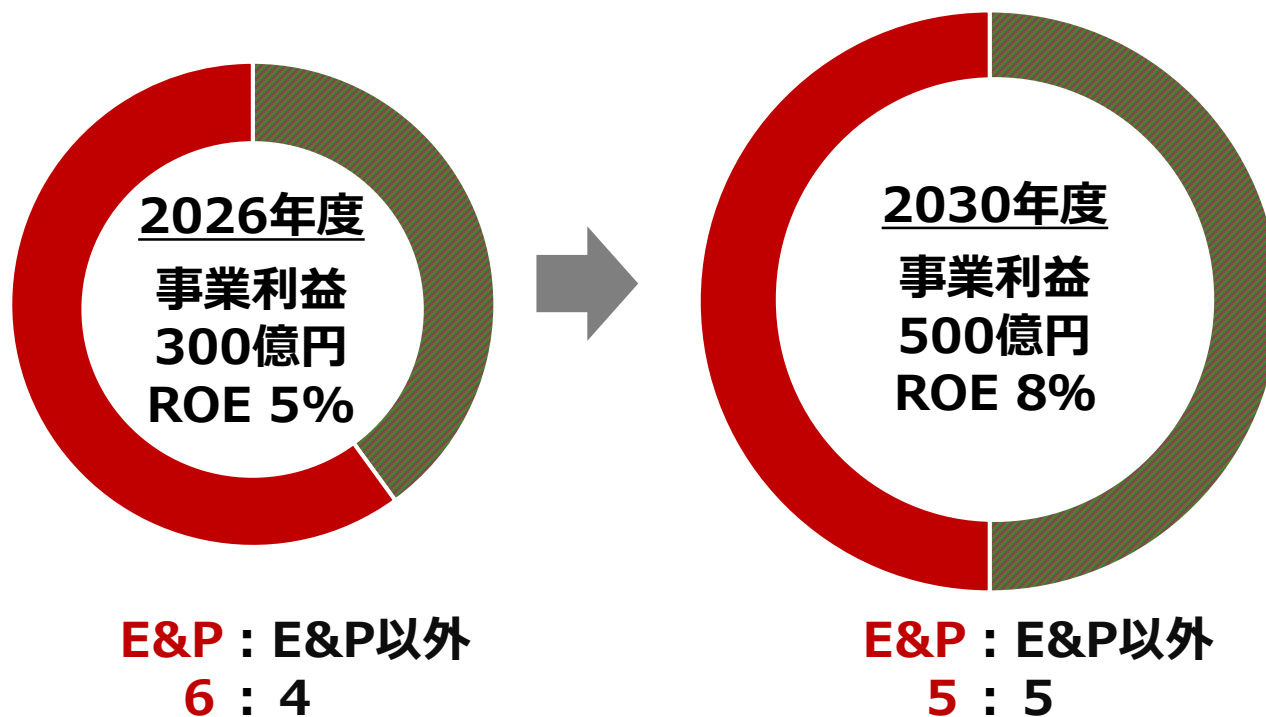
事業報告

1. 企業集団の現況 (2) 対処すべき課題

「JAPEX経営計画2022-2030」概要②

- 事業利益*、ROE、事業利益割合を、定量目標として設定
- それぞれの項目で、2026年度時点の中間目標、2030年度時点の長期目標を設定

定量目標



*営業利益および持分法投資利益等（投資事業有限責任組合契約や匿名組合契約にもとづき分配される利益を含む）

事業報告

1. 企業集団の現況 (2) 対処すべき課題

「JAPEX経営計画2022-2030」の進捗と目標

	当期（2023年度）実績	今期（2024年度）見通し
E&P 分野	<p>【国内E&P】</p> <ul style="list-style-type: none"> 片貝ガス田追加開発：1坑目生産/2坑目掘削 <p>【海外E&P】</p> <ul style="list-style-type: none"> ノルウェー領海上鉦区探鉦・開発事業へ参加 アメリカ・タイトオイル開発の追加投資 英領北海・シーガル：原油・天然ガス生産 	<p>【国内E&P】</p> <ul style="list-style-type: none"> 片貝ガス田追加開発：2坑目生産開始 <p>【海外E&P】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英領北海・シーガル：全坑井開発作業完了、生産量拡大 アメリカ・タイトオイル開発の追加取得権益で順次生産開始
I/U 分野	<p>【国内再生可能エネルギー開発】 バイオマス発電所の開発：田原(愛知県)</p>	
		<p>【国内再生可能エネルギー開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大洲（愛媛県）・長府（山口県）でのバイオマス発電所の営業運転開始 <p>【海外LNG中下流事業開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ・フリーポート LNGプロジェクトへ参加
CN 分野	<p>【国内CN事業実現可能性検討】 苫小牧エリアおよび東新潟エリアにおける事業化検討を推進</p> <p>【海外CCS/CCUS実現可能性検討】 インドネシアCO₂-EOR/マレーシアCCS/アメリカCCS)</p>	
	<p>【国内CN事業実現可能性検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> JOGMEC「先進的CCS事業の実施に係る調査」を受託（苫小牧、東新潟） 	

株主還元・ESGへの取組み

		当期（2023年度）実績	今期（2024年度）見通し
ESG	株主還元	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得開始 配当金実績：年間合計300円（配当性向30.2%） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得終了/取得自己株式消却 配当金見通し：中間125円、期末25円※（配当性向30.1%） ※2024年10月1日付の株式分割（普通株式1株につき5株の割合）を前提。
	E環境	<ul style="list-style-type: none"> 非化石証書購入、GHG排出量のオフセット TNFD（生物多様性）フレームワークへの取り組み 	<p>+ 気候変動関連開示の充実</p> <p>+ GX関連などCN社会実現に向けた活動の強化</p>
	S社会	<ul style="list-style-type: none"> 国内グループ会社への人権デューデリジェンス実施 健康経営銘柄に初選定 & 健康経営優良法人～ホワイト500～に認定 	<ul style="list-style-type: none"> 人事制度の改定 <p>+ 人的資本への投資と関連開示の充実</p> <p>+ DXなどを活用した組織・業務の最適化推進</p>
	Gガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の公表 	<p>+ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」への継続的取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「資本効率にこだわった投資」 ➢ 「株主還元の充実」 ➢ 「継続的なステークホルダーとの対話」